

第23回 東南アジア世界の形成

1 東南アジア

- ・東南アジア地域は、インドシナ半島を中心とする大陸部と、多くの島々からなる諸島部（島嶼部）から成り立っている。
- ・香辛料や香木などの資源が豊富で、中国とインドを結ぶ「 」の中継地点として発展し、多くの（ ）が成立した。

2 ベトナム北部の歴史

- ・前4世紀～前1世紀ころ、（ ）が成立した。
→中国の影響を受けて青銅器の（ ）や鉄製農具が使用された。
- ・前3世紀、秦の始皇帝の支配を受け南海郡など3郡が置かれた。
→秦の滅亡後、趙佗により（ ）という国が成立した。
- ・前111年、前漢の（ ）は、南越を滅ぼしてベトナムを支配し、南海郡・交趾郡・日南郡など9郡が置かれた。
→後漢の光武帝の時代、徴姉妹の反乱が起きるが失敗。
→以後は唐の滅亡まで、ずっと中国の支配下に置かれた。



銅鼓
様々な文様が描かれており、祭祀などに用いられた。



前漢の武帝
プリント28回で詳しく勉強します。

☆（ ）（1009～1225年）

都…昇竜

※現在のベトナムの首都（ ）

- ・939年に呉朝が中国から自立した後、李公蘊が李朝を建国した。
- ・仏教や儒教の影響を受けて、科挙も実施した。
→1225年、李朝に代わり、陳朝が成立した。



現在のハノイ
バイクが洪水のように走り回っている。フォーがうまいです。

3 ベトナム南部の歴史

☆（ ）（2世紀末～17世紀）

- ・（ ）によって建てられ、インドの影響を強く受けた。
- ・中国では2～7世紀に（ ）、8世紀に環王と呼ばれ、中継貿易で栄えた。

4 ビルマ（ミャンマー）の歴史

☆ピュー（8世紀～9世紀？）

- ・ピュー人がイラワディ川流域に建国した小国家と考えられている。

☆（ ）（建寺王朝）（1044～1287年）

- ・11世紀、ビルマ人が建国したビルマ最初の統一王朝。
- ・スリランカ（セイロン島）から（ ）を受け入れ、多くの仏塔や寺院を建立した。



パガン
パガン遺跡は、アンコール=ワット、ポロブドゥールと並ぶ世界3大仏教遺跡のひとつである。

5 カンボジアの歴史

☆ () (1世紀末ころ～7世紀半ば)

- ・ () の下流を支配し、インドの影響を強く受けた。
※東南アジア最初の国家という説がある。
- ・ 扶南の外港 () は、ローマとの交易で栄えたとされる。



ローマ金貨
オケオでは、ローマ
金貨がたくさん発見さ
れている。

☆ () (カンボジア) (6世紀～15世紀)

- ・ () がメコン川中流域に建国し、ヒンドゥー教を国教とした。
- ・ 8世紀初頭に陸真臘と水真臘に分裂したが、アンコール朝の時代に再統一された。
- ・ 灌漑による農業生産によって栄え、真臘は全盛期を迎えた。

◆スールヤヴァルマン2世 (在位 1113～1152 年ころ)

- ・ ヒンドゥー教寺院である () を建設した。
→後に上座部仏教寺院となった。



アンコール=ワット
カンボジアの国旗に描かれて
いるように、カンボジアを象徴
する遺跡である。

◆ジャヤヴァルマン7世 (在位 1181～1225 年)

- ・ 都城の () を建設した。

6 タイの歴史

☆ドヴァーラヴァティー (6世紀～11世紀)

- ・ () がチャオプラヤ川の下流域に建国した。
→13世紀に入ると、タイ人が最古の王朝である () を建国した。

7 インドネシアの歴史

☆古マタラム王国 () (8世紀ころ)

- ・ ジャワ島中部にヒンドゥー教のプランバナン寺院群を建設した。

☆ () (8世紀半ば～9世紀前半)

- ・ ジャワ島中部に大乘仏教遺跡の () を造営した。



ボロブドゥール
シャイレンドラ朝の崩壊後は
密林に埋もれていたが、19世
紀に偶然発見された。

☆クディリ朝 (928～1222)

- ・ 10世紀にジャワ島に成立し、() と呼ばれる影絵芝居が行われた。

☆ () (670年ころ～14世紀)

都… ()

- ・ () を中心に、海上交通の要衝を抑えて繁栄した。
- ・ ジャワ島のクディリ朝や南インドのチョーラ朝と交易をめぐって争った。
- ・ 中国では唐代に室利仏逝、宋代以降は地域の小国家をまとめて三仏齊と呼ばれた。
- ・ 7世紀、() の仏僧 () が、インドからの帰りに立ち寄った。
→著書『 () 』に詳しく記述されている。